

いま あす
～現実を見つめ、未来を紡ごう～ 「生きる力」を育む「学び」の創造

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第8号
2018年12月4日 発行

豊能地域交流部会、第5回 オープンセミナー「進路調査・奨学金」チーム企画のご報告

こんにちは。府立人研事務局です。
皆様、いかがお過ごしでしょうか？
府立人研通信 第8号では、7月に延期した豊能地域交流部会と
第5回 オープンセミナー「進路調査・奨学金」チーム企画の
ご報告をさせていただきます。
当日お越しいただいた皆様、これを読んでくださっているあなた、
次回、お会いできるのを楽しみにしております。



地域交流部会 豊能(旧1学区) 「進路保障とは何か？」

日時：10月12日(金) 14:30～
場所：府立北野高等学校 六稜会館3F 六稜ホール

7月6日に豪雨のため中止となった豊能地域交流部会だが、報告者や会場校の協力を得て、10月12日に府立北野高校において「進路保障とは何か？」をテーマに、開催することができた。

第1部では、中学校と高校からそれぞれ報告があった。豊能町立東能勢中学校からは、進路の不安を周囲に打ち明けられない中学3年生の生徒たちに関わって、「進路指導とは生徒との1対1の関係ではなく、卒業後も繋がっていけるような集団づくりであると気づくことができた」という経験の報告があった。府立池田高校からは、報告者の前任校である府立今宮高校での実践報告があった。生徒が、様々な社会的課題・地域の課題を主体的に学び、〇〇大学に入りたいというだけでなく、大学で何を学ぶのか、卒業後に社会とどう関わるかを考えることで、高校での学習に対して生徒がより前向きになっていったという主体的な学びの実践の報告であった。

小・中・高・支援の各学校からの参加者にとっていずれも興味深いものになった。

第2部は、30数名の参加者が6グループに分かれ、進路保障に関わって、「子どもたちにどんな力をつけるのか」「すべての子どもの進路保障とは」などを柱に議論した。「偏差値輪切りの進路指導」など厳しい現状の中、子どもたちが差別や社会の矛盾に気づき、主体的に進路を決めていくために私たちには何ができるのかについて大いに交流することができた。



第5回 オープンセミナー「進路調査・奨学金」チーム企画

奨学金担当者交流会

～どう乗り切る？ どう乗り切った？ 日本学生支援機構大学等予約奨学金～

10月19日（金） 府立柴島高等学校 会議室

10月19日に、今年度2回目となる「進路調査・奨学金」チームによるオープンセミナーが開催された。

最初に、JASSO（日本学生支援機構）の近年の奨学金利用申込者数と採用者数の推移について説明があった。都道府県別にみると、大阪は申込者数・採用者数とも第1位という状況が続いている。



次に、参加者に今年度の業務内容を振り返ってもらいながら、奨学金業務に関わる問題点・改善してもらいたい点を挙げてもらった。

1回目のオープンセミナーでも訴える人が多かったが、奨学金業務を一人で担当している方が多く、ミスの許されない膨大な量の仕事をしなければいけないことが、現場の大きな負担となっている。今年度は、コンピュータ入力の際に、「下書き準備シートと様式が違って、とまどう生徒が多かった」、「“第1種のみを希望”したいが、それに該当するラジオボタンがなく、“第1種に採用されなければ第2種を希望する”を選ばないといけない」など、システム上の問題点もあった。問い合わせをしても回答まで時間がかかったり、電話が繋がらなかつたりして、通常の業務に支障が出るケースもうかがえた。

給付型奨学金受給者を校内で選定することについても「責任が大きく、学校で定めた基準で本当に大丈夫なのだろうか」と不安に思う声も多くあげられた。

予約採用決定後の指導として参考になったこと

は、奨学金を受け取るための銀行口座は、他のものと別にしておくことがよいということだ。貸与型奨学金は、今ではすっかり「借金」と呼ぶにふさわしいもので、全部でいくら借りているのかということをしちんと把握しながら、在学中、奨学金を利用することが大切である。また、返済猶予などの特例についても、生徒自身がきちんと把握できるようにいねいに指導することも大切である。滞納になる前に、免除や猶予の事例に該当しないか調べることも重要である。未来を切り拓くための奨学金によって、未来を閉ざしてしまうことにつながってはいけない。

生徒が安心して学び続けられる環境を提供するためにも、また、われわれ教職員の業務を効率よくすすめていくためにも、「進路調査・奨学金」チームによる事例研究とみなさんのオープンセミナーへの参加がますます重要になることがわかる時間となった。



府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106

府立柴島高等学校内

（通送便の場合は「府立人研」とお書きください。）

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）

（お電話の場合は、火曜日をお願いします。）

Eメール furitsujinken@nifty.com

（お問合せには、なるべくEメールをご利用ください。）

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>